

2004 年度 W G 活動成果報告

(2005 年 3 月 14 日作成)

WG名	環境影響評価 WG	主 査 名：堤 純一郎
所属小委員会	環境設計小委員会	主 査 名：三浦昌生
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	大規模建築や地域開発に関して、法令化された環境アセスメントが行われている。その評価方法と評価指針に関する技術的な問題に、建築環境工学の立場から検討を加え、環境アセスメントをより正確かつ有効なものにする。	
委員構成 (委員名(所属))	堤 純一郎(琉球大学), 三浦 昌生(芝浦工業大学), 成田 健一(日本工業大学), 瀬田 恵之(飛鳥建設(株)), 渡辺 浩文(東北工業大学)	
設置 WG (WG名:目的)		
2004 年度予算	100,000 円	

項 目	自己評価
WG 活動状況 (開催日・参加人数)	委員の公募(2004 年度) 成果は応募者 1 名で、採用決定。問合せ 1 名あり。 打合せ会議(2004 年 10 月 14 日 16:00~18:00, 建築会館会議室) 出席者 3 名 個人的活動として、各自治体のホームページから資料収集。
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 今年度は目的に対して十分な成果が得られたとは言い難い。今年度の成果は一応、WG を立ち上げて、委員公募を行い、少数ながら賛同いただける応募が得られた点である。委員とはなっていないが、問合せもあった。環境影響評価は、建築関係では十分に定着しているとは言い難いが、少しでも関心が得られた点は成果と考えられる。個人的には各自治体の環境影響評価事例を収集して、内容を解析する等の活動を行っているが、公表できる段階に至っていない。 WG の HP アドレス : http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s2/assessmentWG/framepage.htm
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 当初の計画では多くの委員を集めて、比較的早い段階で公開できる資料を整えるつもりであったが、今年度の成果としてはその 60% 程度の達成である。しかし、環境影響評価の認識が得られ、来年度に向けての委員も獲得できているので、今年度の発展が期待できる体制を整えることができた。
その他評価すべき事項	2005 年 1 月の環境工学シンポジウムにおいて、他の小委員会の委員と意見を交換することができ、環境影響評価が多くの専門分野にかかわりを持ち、今後、建築学においても重要な活動になることが認識されたと思う。